



第2特集

中学校再編 ～みんなで語る～

Challenge
粘り強く挑戦し学び続ける

Collaboration
多様な他者と協働

Career
将来をデザインする

Communication
尊重し関わり合う

新中学校の設計業者の候補者が決定

6月22日に開かれたプロポーザル審査会で、新中学校の設計業者の候補者（基本設計等業務委託候補者）が選ばれました。

契約終了後、市民の皆さまから幅広く意見をお聞きしながら、11月末までに基本設計、令和6年6月末までに実施設計を終える予定です。

学校名や制服・体操服について

今後、新中学校の校名は公募を予定しています。また、制服・体操服のアンケートを行うことを予定しています。

Interview

勝山に育てられる恐竜学部(仮称)に



福井県立大学 恐竜学研究所
西 弘嗣 所長 (教授)



福井県提供(イメージ図)

現在、福井県立大学恐竜学部(仮称)の令和7年4月開設を目指し準備を進めています。学部棟は、県立恐竜博物館に隣接して整備する計画で、長年、発掘・研究を進める県立恐竜博物館と連携できる体制を整えることができれば、学生にとって大きなメリットになると考えています。

恐竜学部(仮称)では、恐竜はもちろん、地質や土木、防災、観光関連の幅広い人材育成にも注力していく予定です。

また、地元勝山の皆さまと学生が密接に関わりあい、「恐竜学部は勝山が育てた」といってもらえるような雰囲気を作れればと思っています。そして、学生が卒業した後も恐竜や勝山に関わり続けることになれば、新しいコミュニティが形成され、勝山の活性化にも繋がるのではないのでしょうか。

恐竜学部(仮称)で学べること(一例)

- ・恐竜学や地質・古気候学などの基礎知識
 - ・コンピューター断層撮影(CT)スキャンやバーチャルリアリティ(VR)などの先端技術によるデジタル古生物学
- 入学定員▶30人を予定

「恐竜が好き」を伸ばす かつやま恐竜スクール

市内外の小学5年生が恐竜をはじめ、ジオパークや古生物学、地質学などを学んでいます。



小さいころから恐竜が好きで申し込みました。化石発掘体験ができてとても楽しいです。

深岩 悠斗 さん (福井市)

“渋滞”緩和対策 臨時駐車場とシャトルバス

県立恐竜博物館リニューアルオープン後は、渋滞発生が予想されるため、臨時駐車場を開設し、シャトルバスを運行します。

臨時駐車場▶道の駅「恐竜渓谷かつやま」隣接地、越前大仏



詳細はこちら

Interview

民の力で観光先進地へ

恐竜博物館のリニューアルによりこれまでより多くの観光客が訪れます。これをきっかけとして、市内の他の観光施設への誘客、滞在時間の延長など、市内の観光消費額が増える仕組みを作りたいと考えています。そのために勝山ならではの自然や文化といった魅力をコンテンツに昇華する「深掘り」に取り組むとともに、地域の魅力を最大限に生かすことで、観光客の消費額を引き上げ、地域経済を活性化します。



勝山市観光まちづくり(株) 今井 三偉 取締役

これまでの勝山の魅力の上に、新しい付加価値を生み出せるよう地元事業者の皆さまと一緒に頑張っていきます。